

漫録

恵まれざるもの

××新聞記者 藤 尾 哲



一
明年度の道路豫算を見ると恵まれざるもの汝の名は道路なりとでも云ひたくなる。同じ土木關係の豫算でも河川關係のもの港灣關係のものは何れも相當に認められこれだけは緊縮豫算とも思はれない。然るに道路は辛じて本年度と

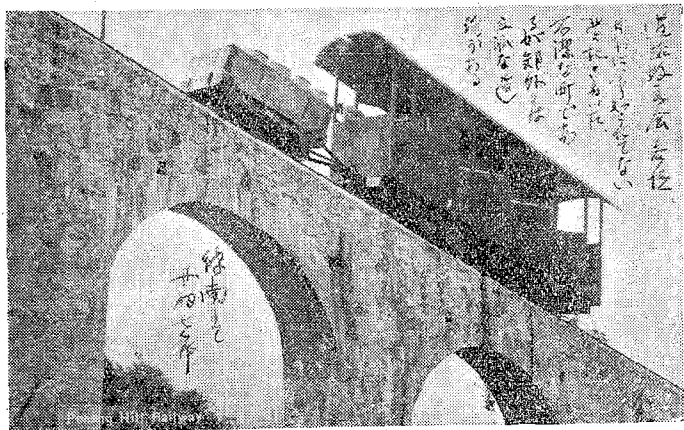
同額に止めて居ると云ふだけであつて河川や港灣に比較すると頗る見劣りがする。最も期待されて居た自動車道路はどこへ走つたのか。大藏省の金庫あたりへ閉じ込められてしまつたのではないか、探してくれ。

二

政府の税制整理案に依ると通行税は豫定の通り廢止されることになつて居る。僕は嘗て本誌で通行税を廢したらその金を道路の改良に充て、貰ひたいと云ふ希望を述べて置いた。希望は希望で容れると容れぬとは勝手次第だが道路改良費を幾分増額した所で罰も當るまい。自動車に乗つて麴町附近を走驅する方々には、道路の改良もサ程感じまいが時には長靴やゴム靴で苦勞をする僕等の身も考へて貰ひたい。

多くの場合人は事實問題に突打からなくては眞の感じが起らぬものだ、だから自動車を乗り廻すにしても丸の内と場末との兩方を経験して見なければならぬ。先づ最もよい経験は東京と横濱間とを往復することだ、そして新國道と舊國道とを比較して見るのが一番よい。その時に忘れてはならぬことは自動車の破損率だ。舊國道を往復するのと新國道を往復するのとではどの位破損の差があるか少し氣の利いた運轉手なら概略の計算位は立て、くれる。少し細かくなるが更に京濱間を往復する自動車の數を計算して破損

の差を乗じたら面白い數字が出ると思ふ。くどいやうだが



いて來たら道路の改良が如何に必要であるか、解るのだが

もう一つ我
慢して今度
は日本中の
悪道路を走
る自動車を
計算して見
たらどうな
るか。又他
方惡道と良
道を往復す
る時間これ
が經濟上に
及ぼす關係
等々々……
……こう書

こんな面倒臭い計算を考へなくとも推定や氣持だけでも明瞭になる。

三

由來計數と云ふや、つは興味の薄いもので日本人は數字を並べた書物になると讀むものは極めて少ない、だからと云つて決して計數に疎ひ譯ではなく、やれ借金がいくらになつたとて苦にしたり金が溜つたと云つて一錢一厘迄も勘定する。要するに自分直接の計數にだけ注意するやうに思へる。しかし考へて見るとこれ程愚な話はない、直接の金一錢を大事に守つて居る間に間接の金十錢を失つて居ることに氣が付かぬのだ。

通行税等は廢止する必要はないと云ふのは通行税そのものが間接の金だからだ、増税を計るならば直接税とせず間接税を取れとはこれ迄の財政家のモットウであつた。今日の歲入中間接税が如何に多いか豫算の款項目を一目見たら明かに解るであらう。だからこの際一般に數字に興味を持

つことだ。國民の大部分が豫算を解るやうにならなければ民衆政治は行はれない。

明年度の道路改良費が一文も増額されて居らぬのは要するに以上のやうな感念から來て居るものと思はれる。道路改良の必要位は誰れでも知つて居る、しかし現在の政治は必要不必要よりも尙以上に政黨の黨略と云ふや、つが重きを爲して居る、殊に土木關係の事業は政黨として地方民心を收攬するに最も都合のよいもので今日迄の政黨は何れも之れを利用して來た、又今後利用されるであらう。實際地方民の要求なるものを聞くに橋位流れてもよい、それよりも家や田畑を流されては困るから早く堤防を築いて貰いたいか港へ行く道路などはどうでもよいから早く擴張工事をして貰いたいと云ふものゝ方が多い。直接利害關係のあるものを先にすることは當然で別に文句を云ふべき筋合ひではないが間接的のものであつても經濟上に大きな關係を持つて居るものなら例へ熾烈な要求がなくなるとも國家と云ふ感念から政府として當然爲すべきものと思ふ。

四

西歐文明を短年月に呑み込んだ我が國は模倣と間に合はせに惰し過ぎて居る。何んでもよいから外國の眞似をしろそして間に合せて濟ませろと云ふのが國民を通じて一つの無意識行動となつて居る。だから何んでも間に合はせ主義でやつて居るのだ。間に合ひさへすればその日一日だけでも結構、明日のことなどはどうでもよいと云ふのだから情なくなつてしまふ。政治に百年の大計のないのも當然のことだ。

道路などもこの例に洩れず間に合ひさへすれば例へ泥田のやうにならうが砂漠のやうに凸凹にならうがそんなところは一向構はない。人間が通れば結構、車が通れば尙結構、自動車を通れば尙更結構で善悪などは餘程の所でなければ見分けが付かない。まして經濟上の損失などを考へるものは運送業者位なものである。

五

道路改良會は熱心にやつて居るのだが爲政者に認められなければ止むを得まい。時期が來なければ駄目だ、しかし諦めるのではない、こんなくだらぬことを書くのも痛切に道路の改良を感じて居るからだ。



雪の降るのも近くなつて來た。又長いこと泥道で苦勞しなければならぬ。長靴やゴム靴の用意が整ひましたか。